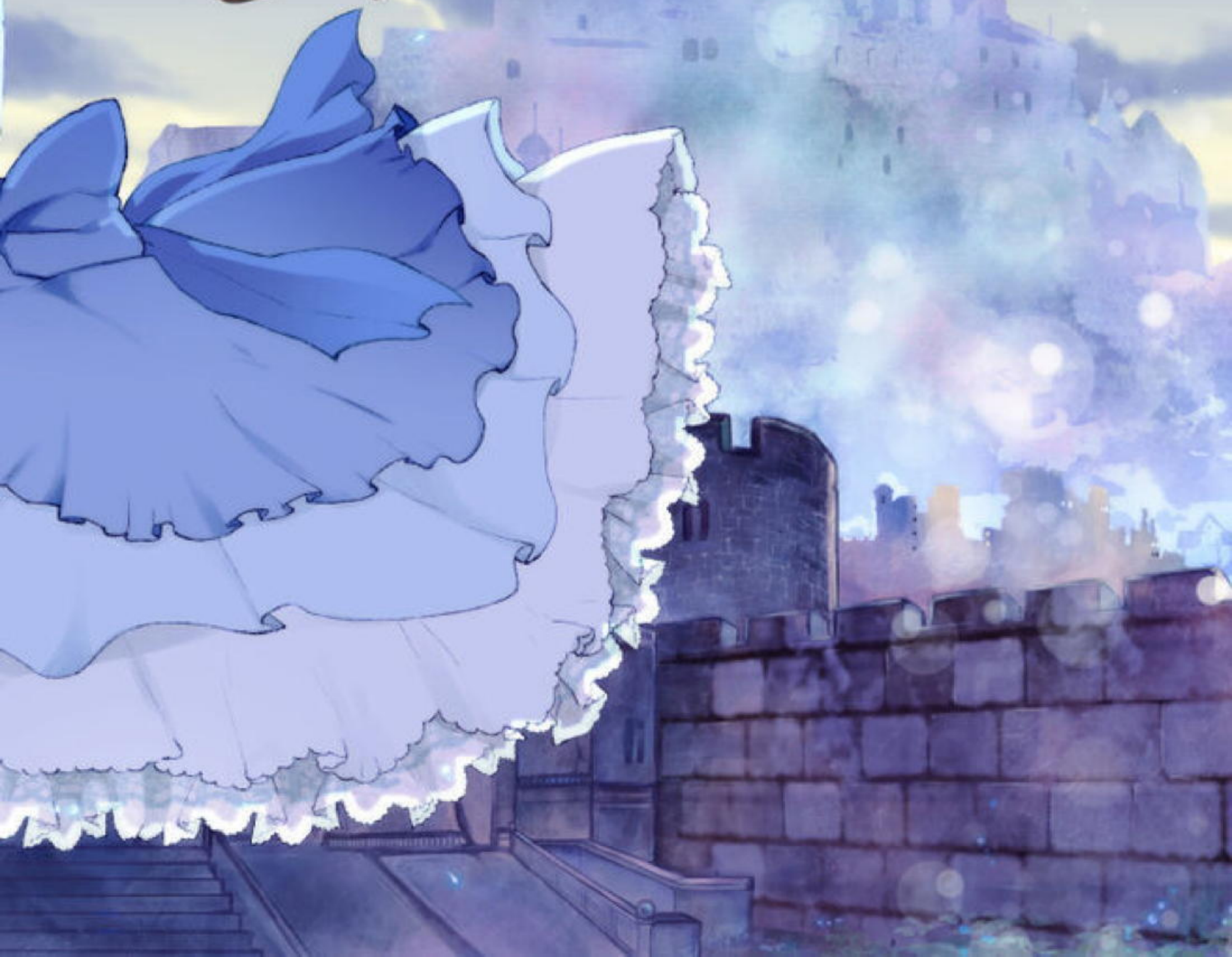





恋の王子様と
花嫁を
ハッピーに





王子とプリンセス
を鳥らむ



王子とプリンセス
を鳴らして

2017/6/11に発行した王姫本のWEB再録になります。
こちらのPIXIV以外では公開を許可してません。
発行時より加筆修正があり、R18部分は削除してます。

補足

この世界のオメガバース

男女の性とは別の第二の性の事だよ！
詳しくは「オメガバース」で検索してみてね！



チート的な才能を持つカリスマ的存在。
Ωを番にできる。この時代ではΩのフェロモンに
強く惹かれる、という事以外わかりやすい特徴が
ないため、才能を埋もれさせたまま生涯を終える事も多い。

普段から甘い香りを放ち、子を生ず事が出来る性。
興奮すると甘い香り、フェロモンが強くなる。
成長すると3か月に1度ヒートと呼ばれる発情期がくる。
比較的わかりやすい特徴があり、αを見つけ出す稀有な
存在として、この世界では権威の象徴としてこぞって
王族が我が手におさめたがる。



あとは普通の人々なβ(ベータ)がいる。ほとんどの人はβ。
αもΩもとても少ない存在の上、検査方法が確立されていない時代のため
国によって差はあるが、発見されればとても重宝された。

このお話に出てくる国々

青の国

そこそこ平和で
カウ松姫の母国
執事のチョロスチャ
メイドのジュッシー
第二王子は一松が
暮らしてる

赤の国

おそ松王子の暮らす国
現国王は松造。
小国で仲の良い青の
国にはよく頼ってる
第二王子はトド松

黒の国

兵器の売買で
国は豊。見栄っ張り
な王様らしく
あんまりいい噂を
聞かない



遠い昔の
どこかの世界の
どこかの国々――

小さな国が
寄せ集まって
暮らしていた

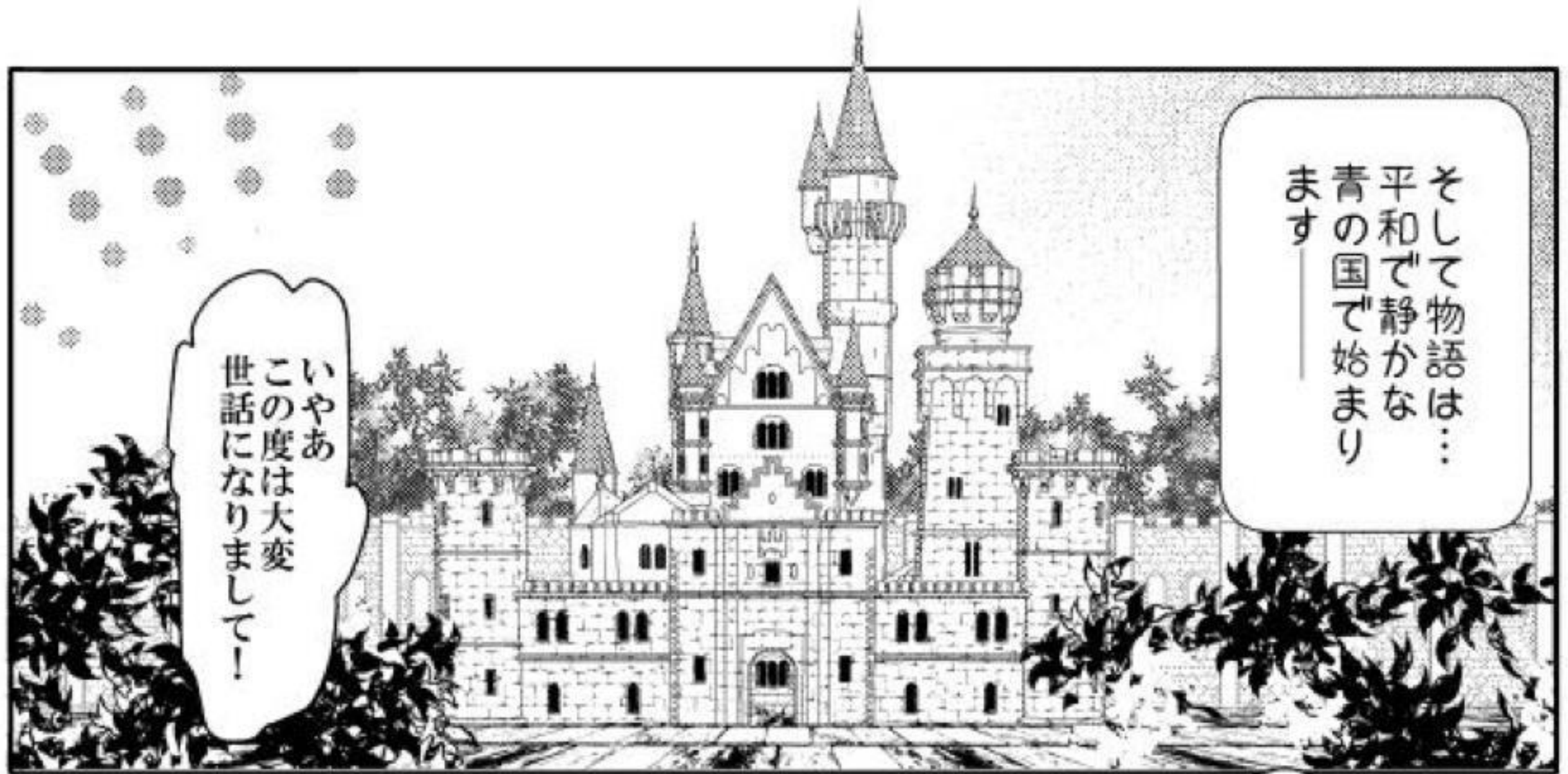
そんな世界には
ひとつの伝承が
ありました



月の神に
愛されし聖母は

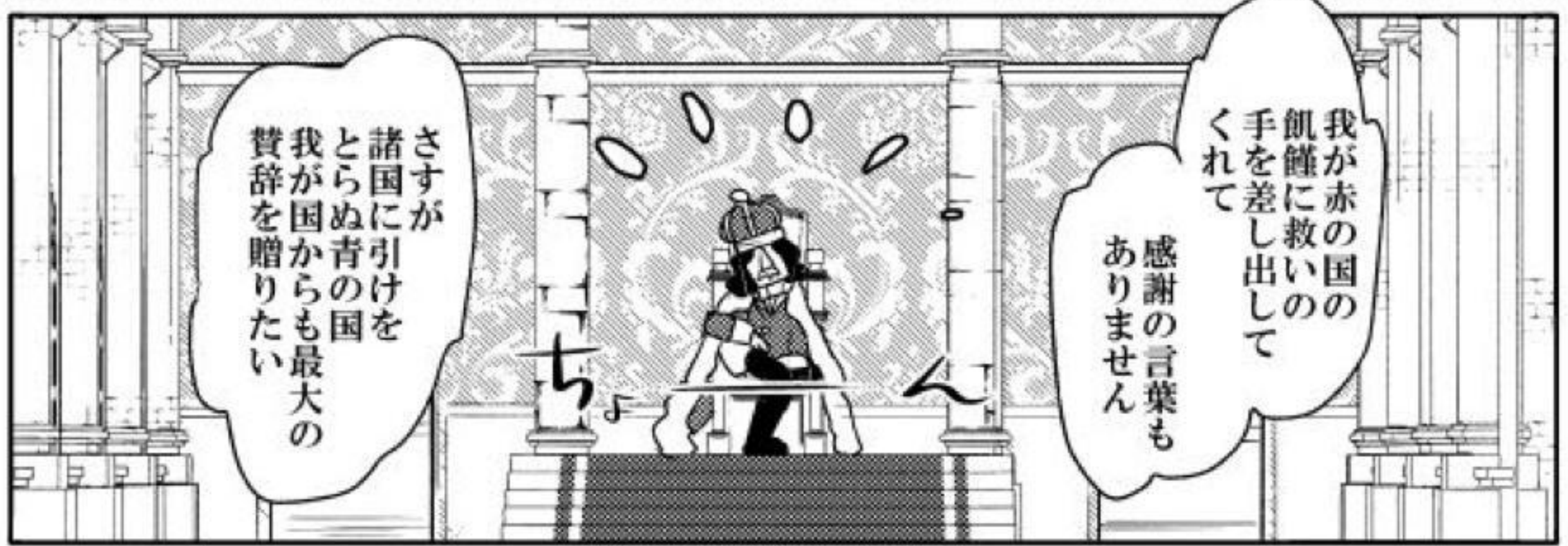
その身に
次世代の英雄の
子をなす為
新たな目覚めを果たし

そして真なる
王を選び
祝福するのだと



そして物語は…
平和で静かな
青の国で始まり
ます

いやあ
この度は大変
世話になりました！



我が赤の国の
飢饉に救いの
手を差し出して
くれて

感謝の言葉も
ありません

さすが
諸国に引けを
とらぬ青の国
我が国からも最大の
賛辞を贈りたい



我が赤の国と
青の国は親善国

これからも
友好関係を
続けたいものですなあ

ふん

そんな事を言っ
てまた金の無心
きたのだから

いやいや
そんな事は

よい、赤の国とは
先代からの古き
付き合いだ
くるしゅうないぞ

はっはっは
それに幸いにして

次世代を担う
我が子たちも
仲が良い
ことですしな

あははは



ねーカラ松
知ってる？

ん？

なんかこの前
第二の性って
座学があったん
だけど

んん？

すっげー少ない
らしいけど
人を惹き付ける
オメガと



すっげー
カリスマレジエントな
アルファってのが
いるらしいんだよね

俺それ
だわ

カリスマか…
それいろな
よしなろう

俺とお前で
カリスマキング
だぜ！

ははッ
おもしろいな
それ



時は…少し
流れ

甘い香に
誘われるように

カラ松姫の
誕生です

国民は
みなそれを
祝福しました

カ
ラ
松
姫
の
誕
生
す

カ
ラ
松
姫
の
誕
生
す



オメガの性を持つ
聖母の目覚め
おめでとございます

素晴らしい運命を祝し
このチヨロスチャン

今まで以上
責務をもって
姫の警護にあたり
たいと思います

ふふ…なんだ
そうか、すごいのか
そうか…

ははーん？

あ、なんだか
シヨックは少な
そうでそこは
安心しました

そうですね…

パース性とも
呼ばれる第二の
性は神から与えられし
ギフト…

オメガが
選ぶのはアルファ
神がその才能を
祝福したと呼ばれる
真なる王

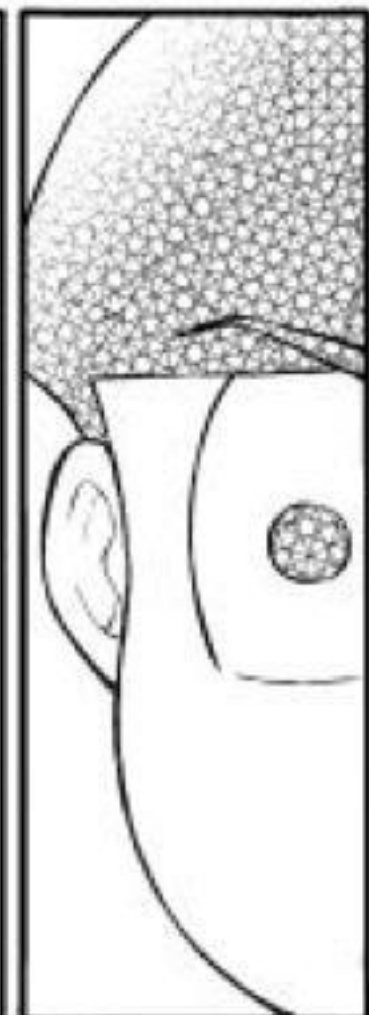
その伝承ゆえ
オメガを迎えるのは
王族の嗜みともされ
各国の王が貴方に求婚を
されるでしょう

貴方はもはや
一国の姫——王に
嫁ぐ日まで純潔を
誓っていたいただきます

ですので

ご友人とも、
会うのは控えて
いただく事と
なります

…わかった





巨額の結納金が
国を潤す事になる
そう王は眩きます

ジュッシーノ…
ひとつ…
聞きたいことが
あるんだが

バッチコーイ!

んー?
なになに?
いいよ!



うん!でも男の子じゃ
姫兄さんの側に
いちやダメだから
今はメイド!



おそ松が?
この国にか?

うん!姫兄さん
に会いたいわって
言っただ断られてた



そうか…

おそ松も…
俺に会いたいの
思ってたのか



ふ…物思いに
耽り眠れなくなる
…俺

よし、俺は俺に
子守唄を歌おう



お城に生まれたよ
お姫様だよ

今は
プリンセス



…眠れない



ソワソワ

ズグ



カラ松
みつけた

おそ松…!?

な…

誰だ?

ぴと



お前に会うのに
禁止もくそも
ねーだろ?

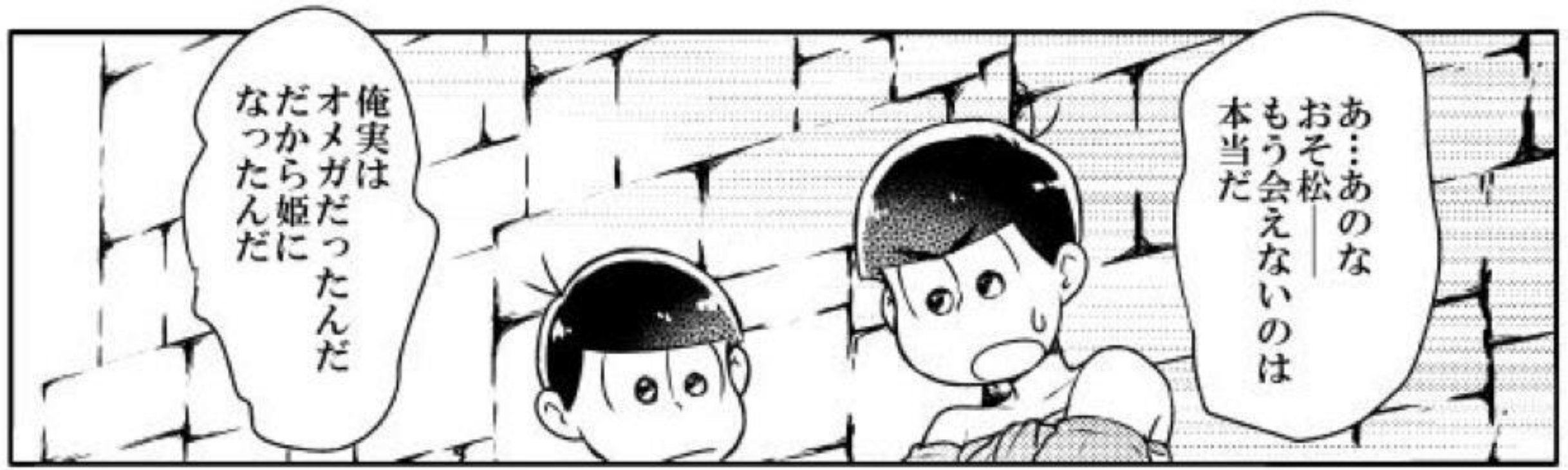
そーなんか
シユルチャンに
カラ松が姫に
なったからもう会うな
とか言われてさあ

シユ…?

おそ松…
会いに来て
くれたのか?

いや…
おそ松あのな

ぽぽぽ





うん...

——って！

ズラズラ

許すわけねえだろ
この姫を狙う逆賊があ！



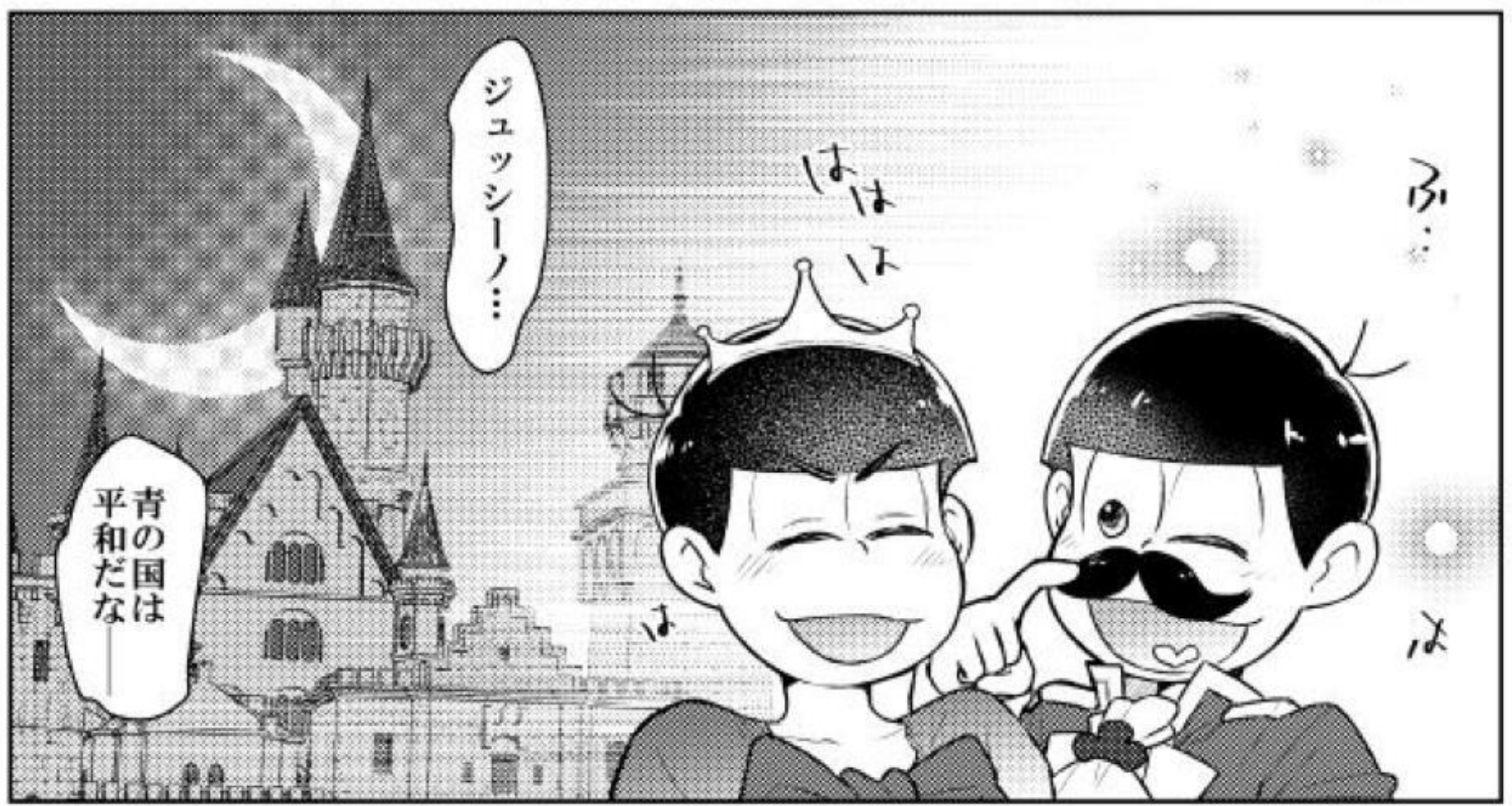
おそ松王子
てめえ何度も何度も
姫を誘拐しやがって！

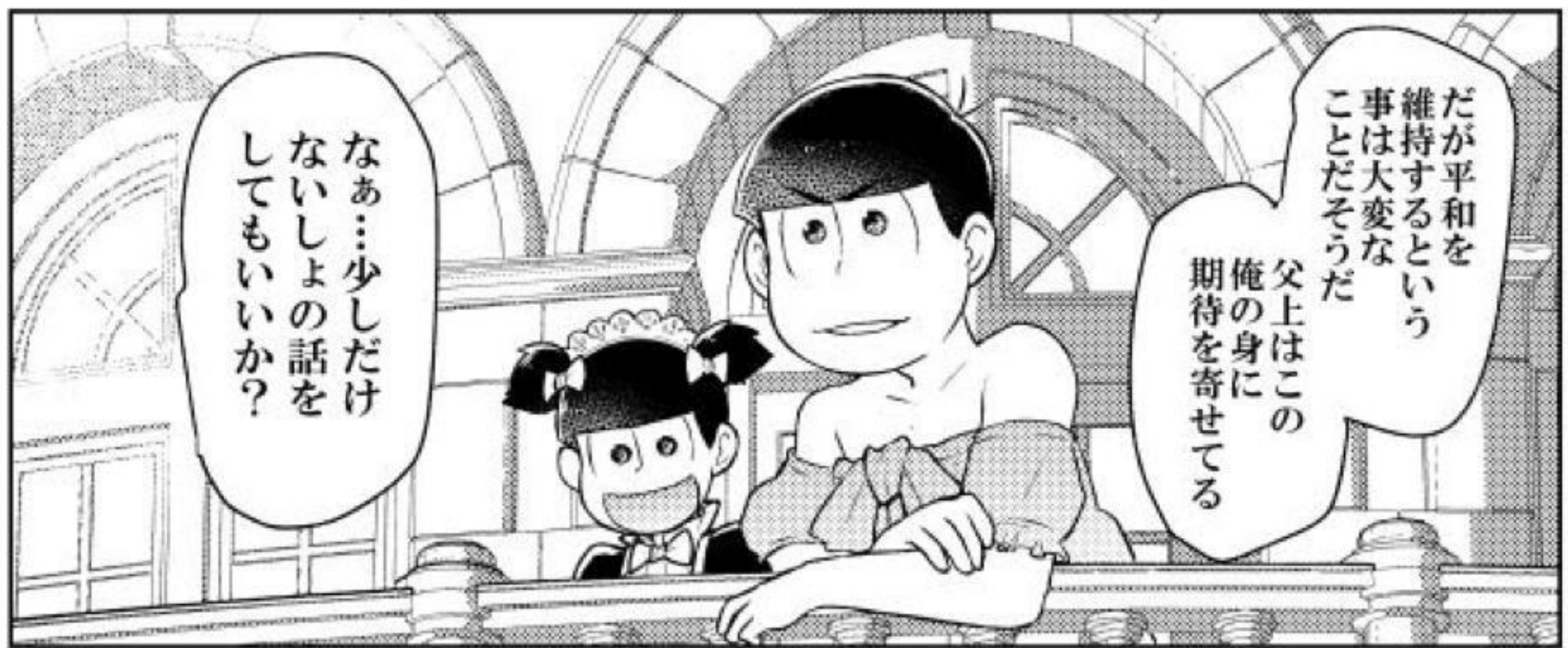
ぼ、ぼれたぞ
おそ松！

ズラズラ

どひえー







だが平和を維持するということは大変なことだそう

父上はこの俺の身に期待を寄せてる

なあ…少しだけないしょの話をしてもいいか？

このまま――

刻が止まればいいと…最近思うんだ



おっと…いつか愛するプラザール松も世襲する

青の国の平和を担えるなら光栄だ

だからこれはないしょ話だぞ

このまま皆で平和に過ごしたまに友と会おうんだ

おそ松と…

「あん…」





何度も脱走を繰り返してやがーなさって

あまりご理解いただいてないようですので

あらためて申し上げますが

オメガの性は子をなせる性

姫には王との婚姻まで貞潔を誓っていただきますが

それでも発情期とよばれる熱籠りの時期は訪れます



あーわかってないだらうね

うん知ってた

それでも思考放棄はダメです!

なんだ...? ストレスか? よし俺が

歌うなああああ!



発情期のあるオメガ性は人々を魅了し惹きつける

いいですか!?

変わらず今のままでなんていられないんです!

—いられないんです—

身体はもう...

先に変わっていつてるんだな...



そりゃ
こんな月の
綺麗な夜はね



今夜も来たのか
おそ松王子



：おそ松は
変わらんな…ずっと
子供の頃のまま
同じ夢を見ているようだ



俺もその夢は
嫌いじゃない



どう？お姫様
今夜も月が
綺麗ですね
なんちて
なははは

ん？ああ…
綺麗だな

抑制への反発…
チヨロスチャンへの
挑発

王子にとつては
そんな遊び心
かもしれないが俺も
この時間は心が躍る

こんなにも
穏やかな気持ちで
月を眺める事など
もうないだろうな

こんなにも…美しい

おそ松ありがとう
俺は—この月の
美しさを…

きっと忘れない





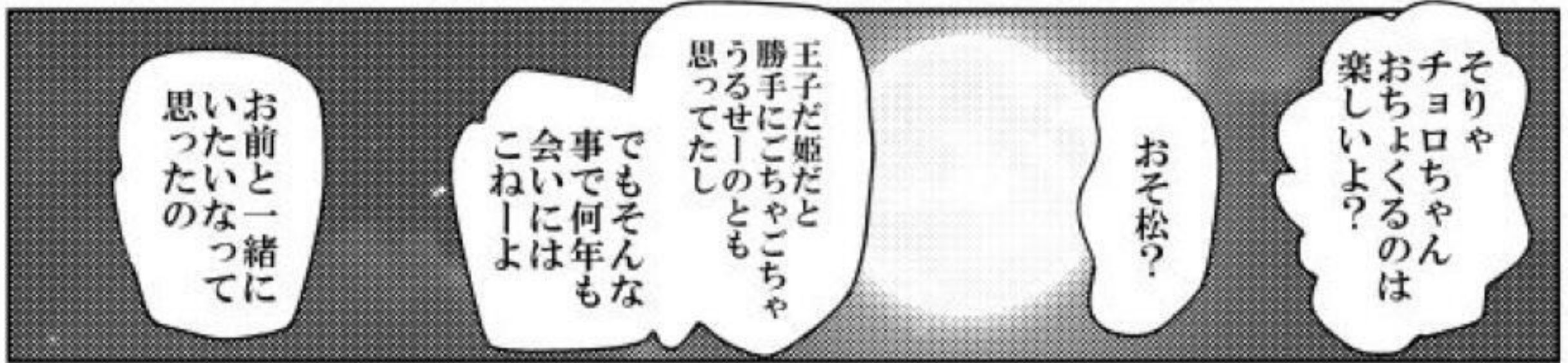
全然何にも
伝わってねーの

んん？

あーもう
ほんつとバカ



はああ
ああ



そりや
チヨロちゃん
おちよくるのは
楽しいよ？

おそ松？

王子だ姫だと
勝手にごちやごちや
うるせーのとも
思ってたし

でもそんな
事で何年も
会いには
こねーよ

お前と一緒に
いたいなって
思ったの



だから…そのまんま
そのまんまのお前と
これからも一緒に
いたい

てえ

カラ松の事が
好きだから

カラ松は…イタくて
バカで…まぬけな
やつだけど
その三百倍
お前のいいところ
俺は言えるよ





カラ松？



なんで...?



あ

嘘

や



やだ...



きつーッ
いいいたああ...ッ



あううう...ッ

やだ、やだやだ
—ッ

カラ松？

あんなに

もう少しだけ…
このまま—あ

—ッ、か、変わり
たくない…ッ

ひいっ

あんなに
あんなに…

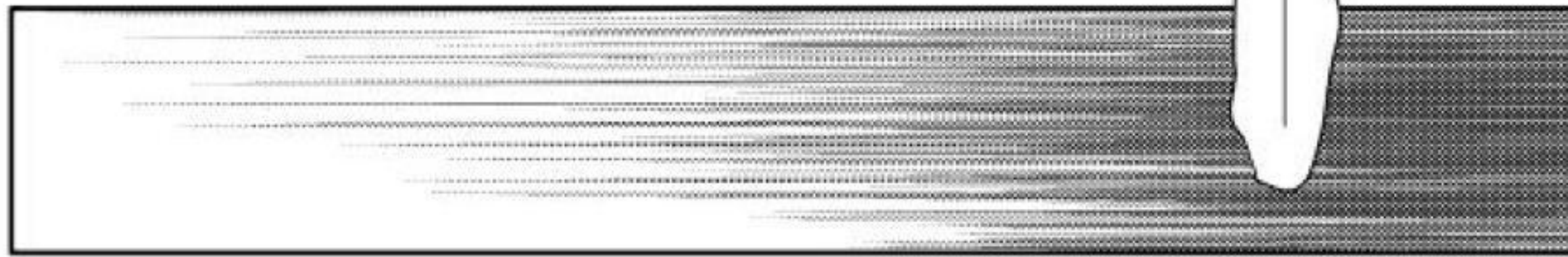
まだ—
このまま…

カラ松…
お前

すげー…
甘い、匂い—









おそ...まつ

おそまつ
おそまつう...ッ

うわあああああああんッ



恐れながら
申し上げます

昨今権威の
象徴となっている
オメガ性ですが……！

英雄となる
アルファを選び
育むといわれる
神聖な存在……！

カラ松姫には
すでに……

どうか
ご配慮を……！

慕われている
方がおります……ッ

何を血迷った
チヨロ松

幼き恋心など
どうせ一時の
気の迷い……

嫁ぎ先は
先ほど決まった
——黒の国だ

莫大な
結納金を
申し立ててきた
資金も豊富な
よい国だ

下がれ…ッ



世話をかけたな

身体は
落ち着いてきた…

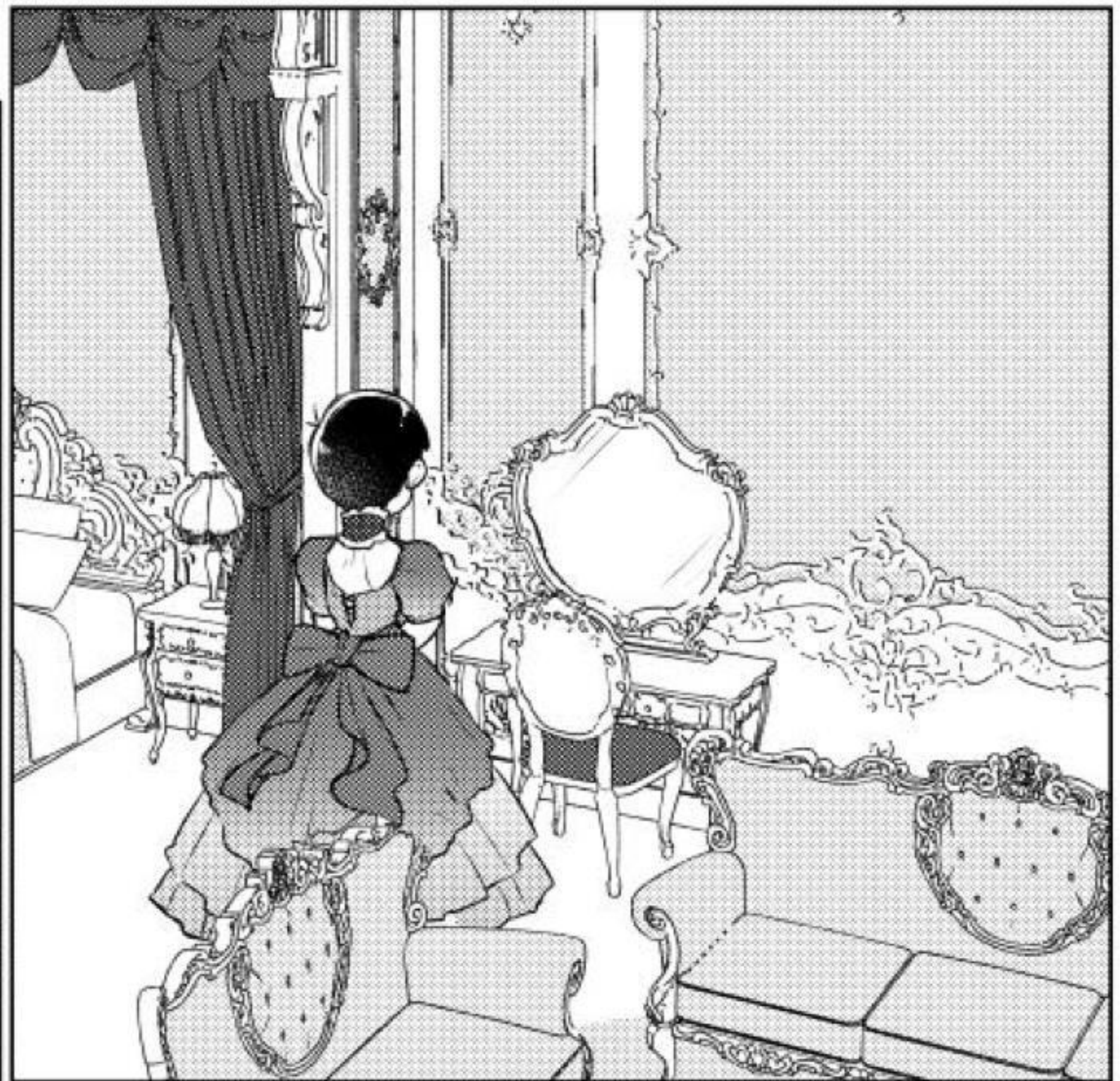
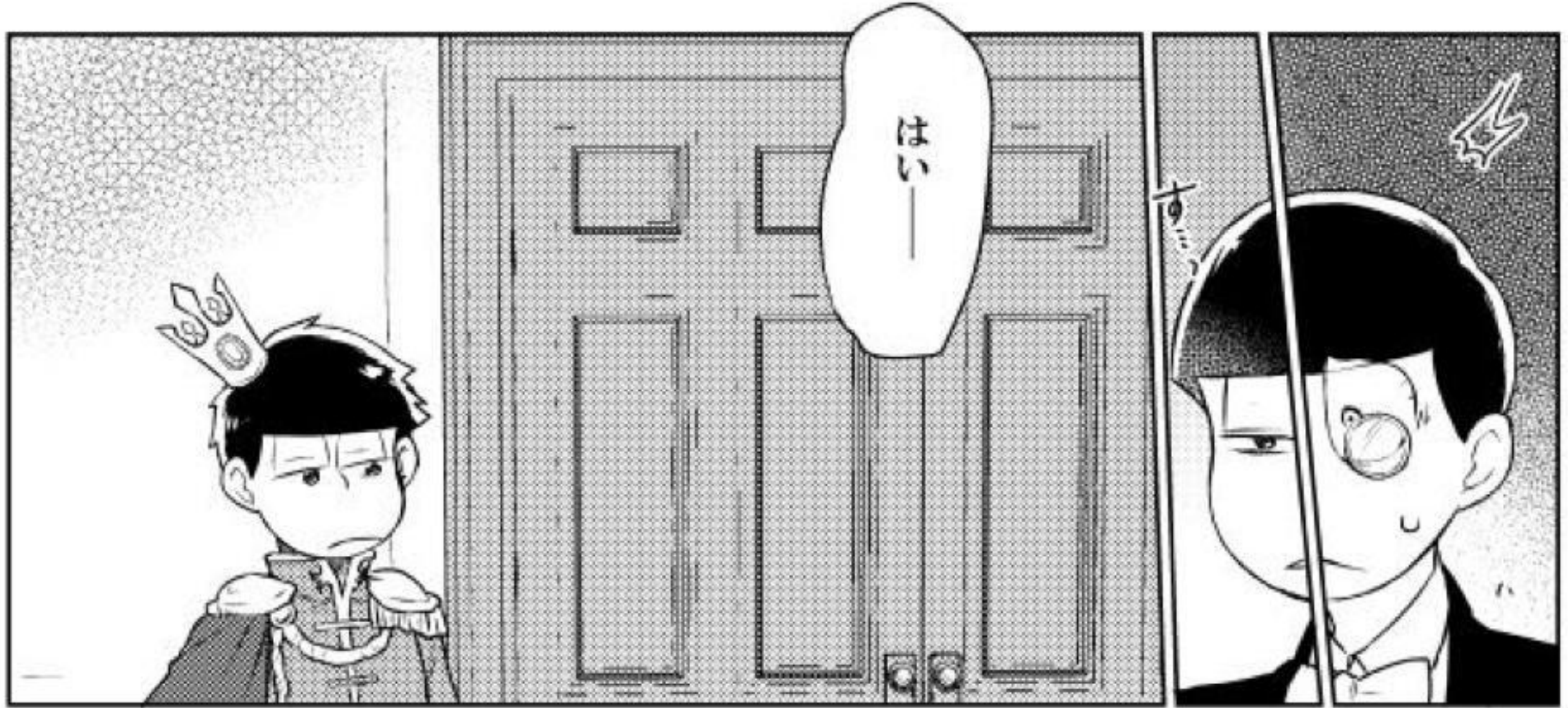


— すまんな
面倒をかけた

チヨロスチャン…
婚姻が決まったと
聞いた

もう俺に
遠慮せず警備兵
を増やしてもいい

いえ…
お疲れ様で
ございました



—おそ松



熱に浮かされて
意識も半ば
だつたが—

ずっとお前の
顔が浮かんで
いたよ—

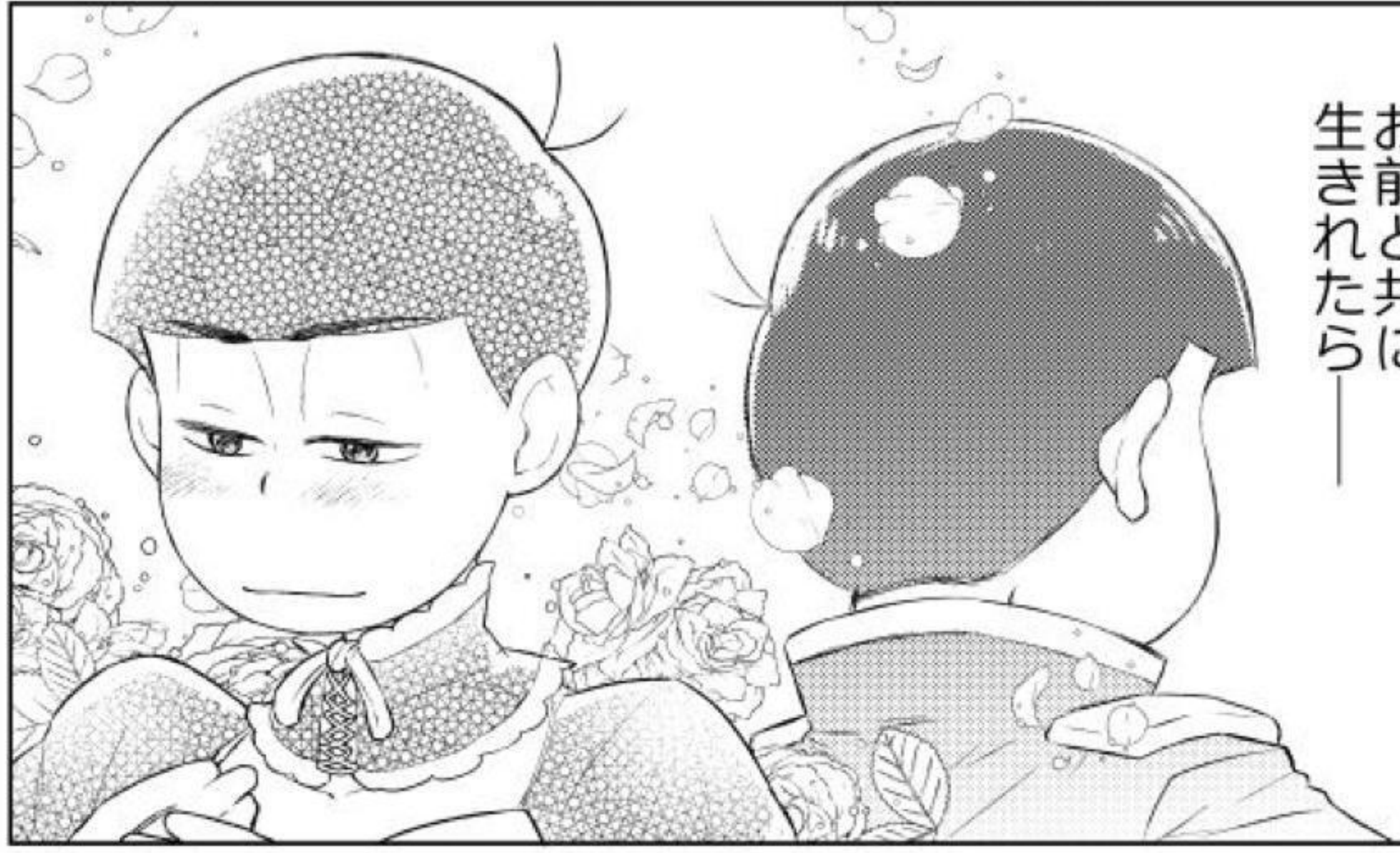
好き—と
くれて嬉しかった



急に遊び相手が
いなくなると
お前は拗ねるだらうな

なあお前は
どんな王に
なるのかな

お前と共に
生きれたら—





警備を
増やそうが
きつとお前は
来るさ

俺は
青の国の姫




ほろ


アーンアーン

だから…俺が
終わりにしなきゃ
いけないんだ…





悪いなおそ松
——この窓は
開けない



婚姻が決まった
青の国の姫と
して、もう会えない

だって——

カラ松……？

これ以上は……辛すぎる

今まで楽しかった
友として礼を言う

おそ松も末は
赤の国の王——
立場は変わるが
また逢えたらその時は

幼き頃を
共にした……
友として——

なあおそ松
俺はこれから
黒の国に——
嫁ぐんだ——

お前以外の
男に——
触れられるんだ……

友好を……







おそ松の側は
まるで夢を
みているように
あたたかい

醒めたくない



醒めたくない

我が黒の国は
何分資金が豊富！
オメガの扱ひも
心得ているザンス！

なので安心して
嫁に来てちよーよ！

ミーが黒の国に
ふさわしい妃に
教育してみせる
ザンス！



んんん...

んんんん

それにしても
そのなりは
なんザンスか？

髪も伸ばしてない
とは…まるで男の
ままザンス

これは駄も
時間がかかり
そうザンスね…

ふ…ありのまま
光り輝く…俺

セラウ
〜
〜

黒のヴェールを
贈るザンス！
それでマシになるまで
身なりを隠しといてちよ

まったく…青の国
教育係の程度が
しれるザンスね…





なるほど俺は
姫としては
奔放に育った

皆の愛には
感謝するが

郷に入りては
従えだ――



夢見る時間は
終わりの刻だな

夜明けには
黒の国へ
向かうとしよう



月が昇り

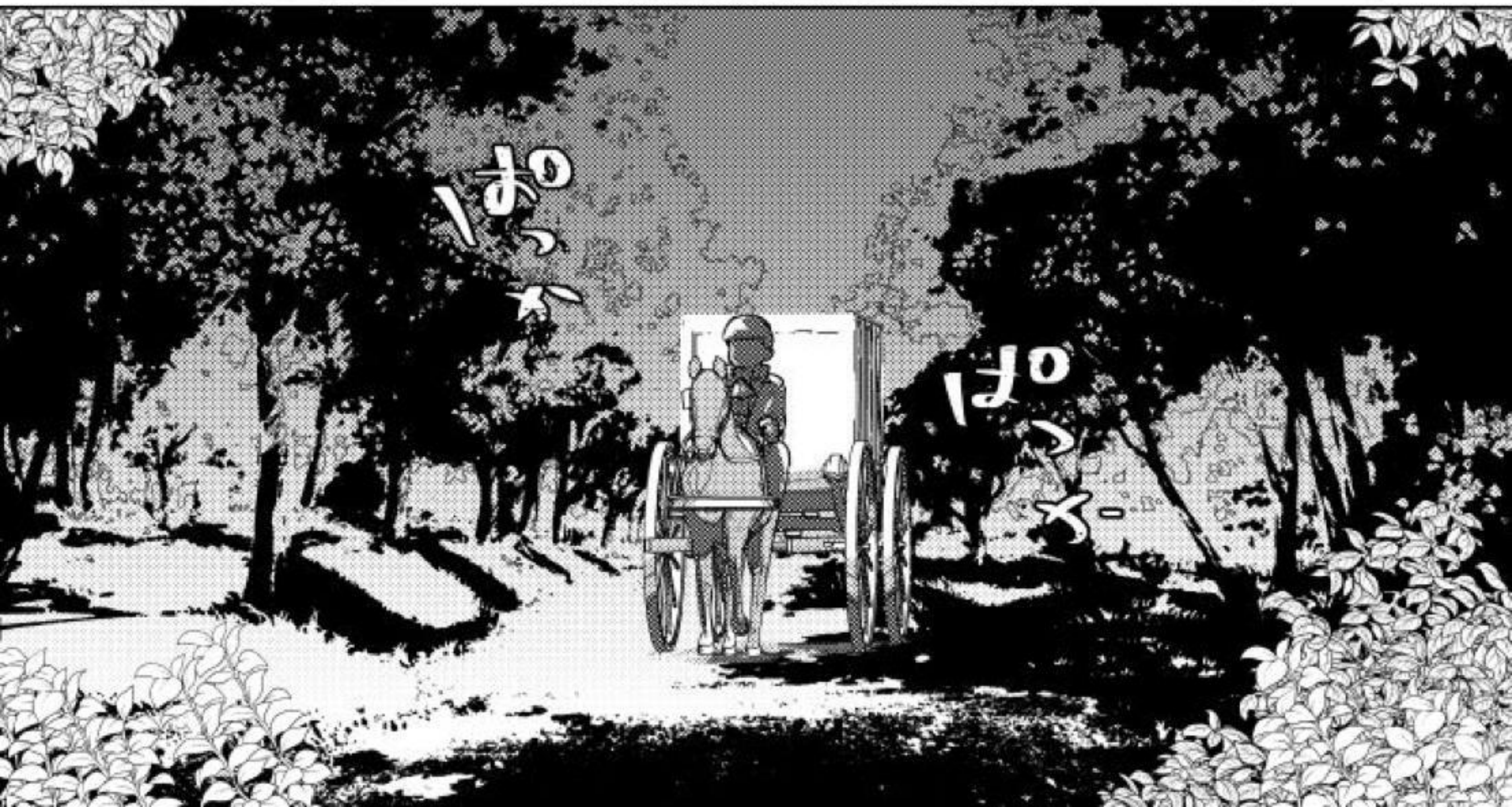
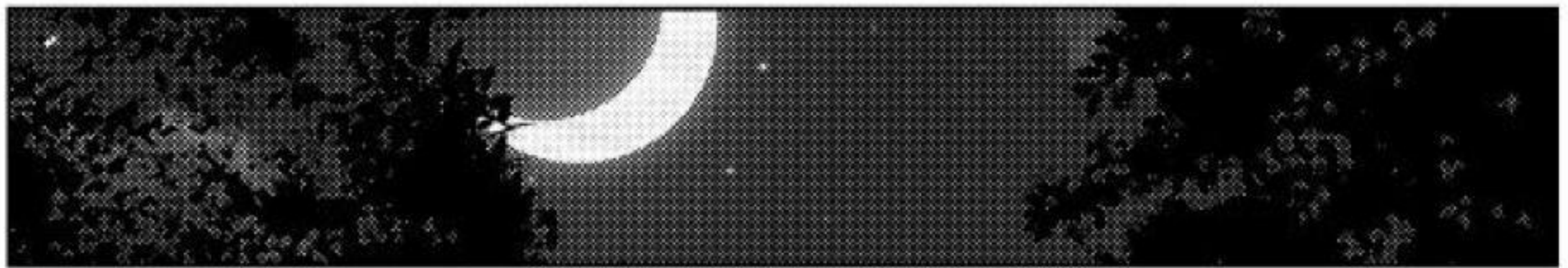
あはれ



夢が、終わる



その光が
消えたら



おはよう

おはよう





私は月の女神直属の
執事、御目付として
幼少の頃よりお仕えしてた

それより以前は
王国近衛兵——
チヨロスチャン



姫様を守り

仇となす者を
排除する為——

おそ松王子！
覚悟——ッ！

あ

んんん？おめが？
俺はカリスマキングに
なるんだぞ？

姫様は——

癖はあれど…誠実で
心優しきお方——

せ

カ
ワ



お前が

アルファなら

おしりに
はまねたよ



英雄とも
いわれるアルファ
だつていうなら……ッ

カリスマだ
レジエントだ
つて言うなら
ッ



ちょ

わ

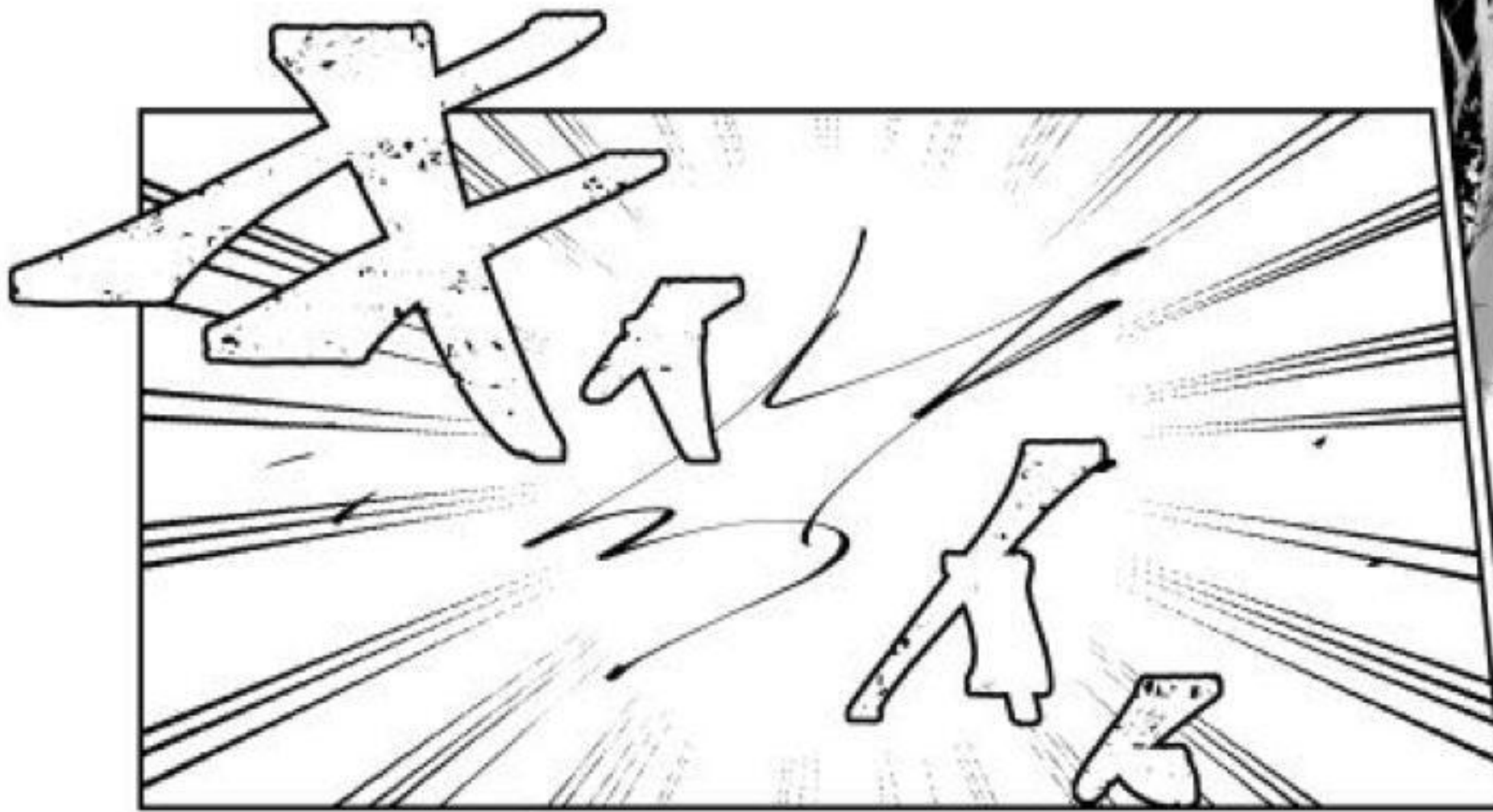
こんな所で
手間取つてないで

さつさと姫を
迎えに行け
よおおッ



ミ
ズ







僕が子守唄
歌ってあげる

眠れないの？



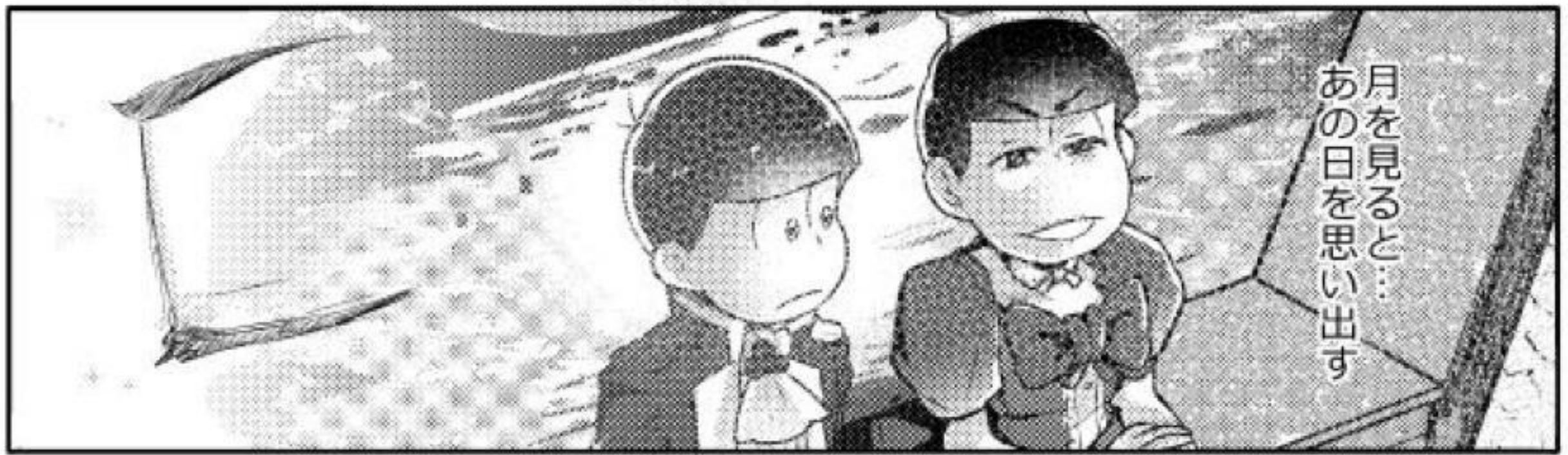
…ふふ

心配するな
じきに部屋へ
戻る



カラ松
姫兄さん…

ずっと空
みてたね…



月を見ると…
あの日を思い出す



ちよつとまいったあ！

月を見れば——お前に会える

え



おそ松...

おそ...



黒の国との
約束を反故に
するという事は

青の国の
国民を巻き込んだ

——…ッ
おそ松すまんが

俺はお前に
応えられん…!!





というか

すでにおそ松王子と
カラ松姫の婚姻手続
終わってますから

お前は
赤の国第二王子
!

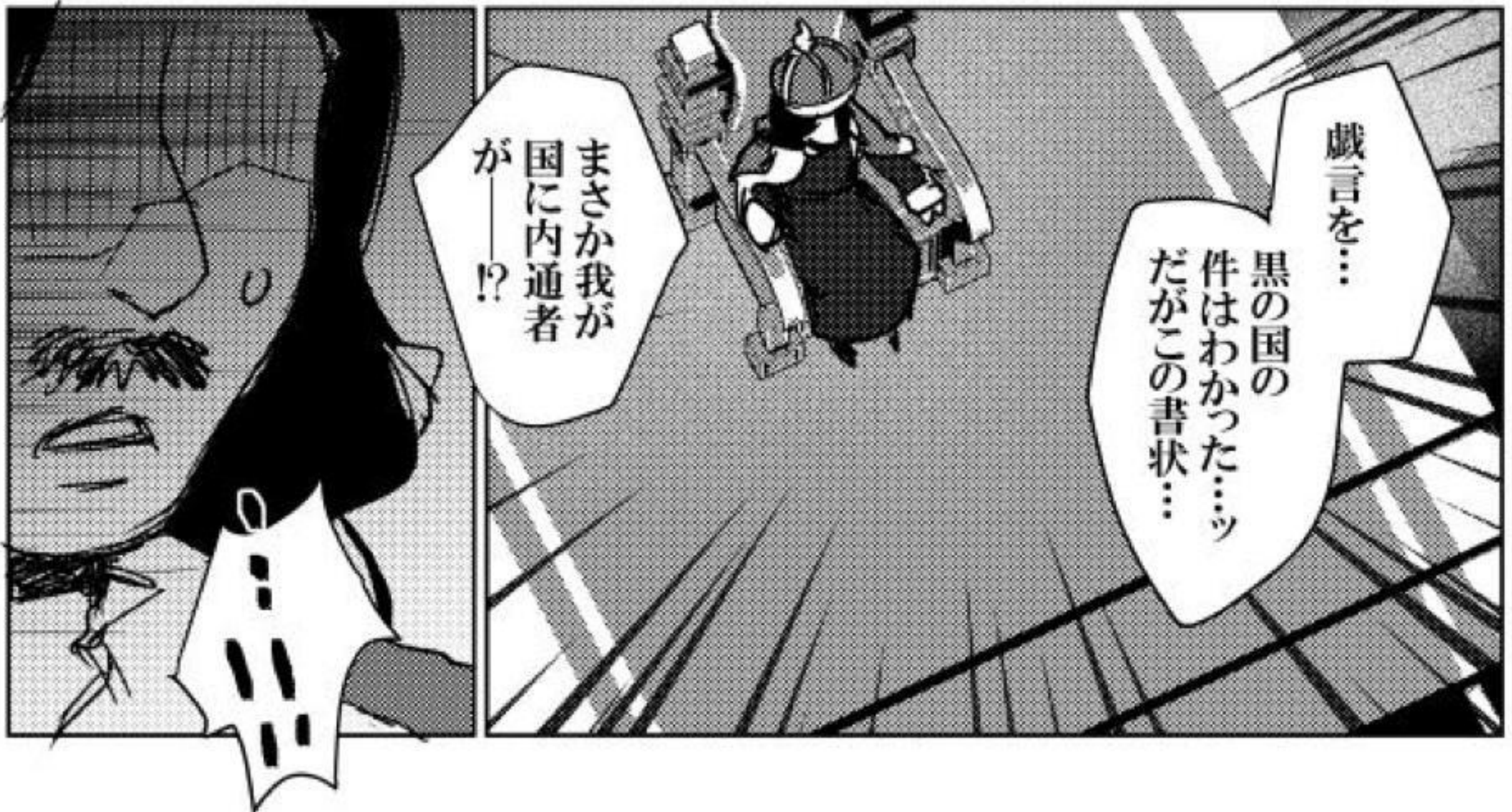
どういう
了見だ…?



月の女神——
Ωの扱いは言えば
嫁ぎ先の相手による
少しでも国力の
高い豊かな国へとの
お考えは貴方なりの
親心でしょう

兄を信じろとは
言いませんが

自分の息子の
可能性をもっと
信じては?と思った
もので——



戯言を…

黒の国の
件はわかった…ッ
だがこの書状…

まさか我が
国に内通者
が!?

どうも父上——
繰り上がり第二王子
一松です——

父上貴方は
第二継承者が月の女神と
なり——継ぐ者が俺と
なって焦っていた様子

まあどちらに転んでも
クソかゴミ——お察しします
——が、クソを代償に安泰を
計るのも寝覚めが悪いんで

その辺はまあ

なんとかかするから





…一松



内通者…
っていうか
血縁者？

あ、ちなみに
黒の国王への
制裁も一松
兄さんの提案だよ！

いやだれが
兄さんだ
あさといわ

自分のお兄さんを
バカにされて
怒っちゃったみたい

いや、クソ松の
ためじゃねーしッ
チヨロをバカに
したからだし

またまたも
素直じゃない
んだからあ

わレ

わレ



仲良…
い…
た…

…
そんな事が…

カリスマ
レジエントを
信じろって言ったろ？

でも、ま
カリスマなんて
口で言ってるのが
楽だよな

ガキの頃
お前と2人で
笑い合ってたみたいに







おそまつ……ッ



うおおおおおおおッ

おそまつ……ッ
ううううううう

うわああああああ
ああああああああ

カラ松

カッ！

おそ松ッおそまつ
好きだ、俺も好きだ

たっ！

たっ！

はは

はは
ばっかお前は
そういう事は

うわああああん

笑顔で
言うんだよ

お姫様と
王子様の物語は

めでたし
めでたし
迎えました

おそ松…

うねねね



おそ松…今夜は
月が綺麗だな

後はひたすら



お前と共に
見る月は――

ハッピーエンド